



# 2023年3月期 通期業績予想の修正についての説明資料

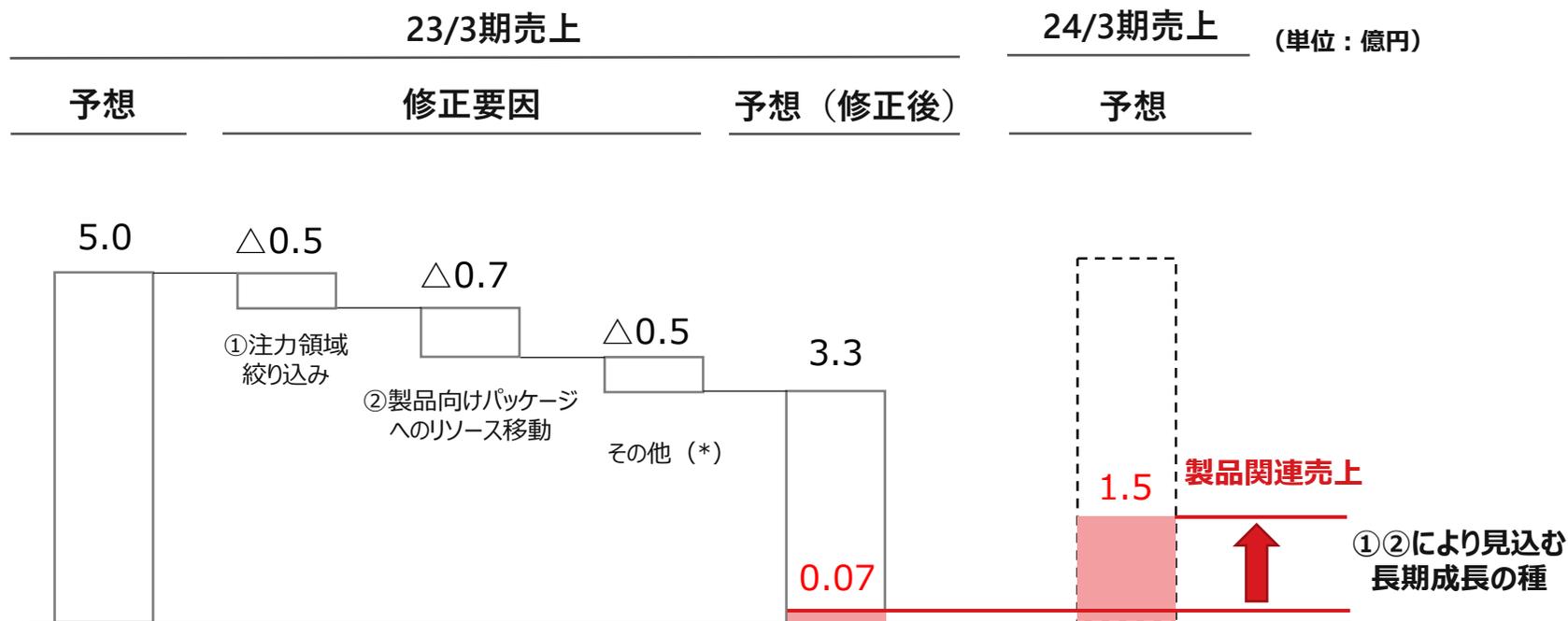
---

2023年4月28日

Eyes to the all machines

# 2023年3月期 通期業績予想の修正（1/2）

- 事業の仕込みフェーズから刈り取りフェーズに向けた転換点となる顧客製品化が進み、その指標となる顧客製品化の件数は計画を達成した（4件）
- これにより、顧客製品化に伴う売上（製品関連売上）の拡大により重きを置き、これを前倒しで進めるため、①製品化見込みが高いロボティクス・マッピングへの注力領域の絞り込み、②更なる顧客製品化の呼び水となる製品向けパッケージ（モバイルマッピングキット）を開発し提供を開始した
- 第3-4四半期において、①②によるリソース移動を計画より前倒しかつ大幅に実施したため、注力領域以外や、製品化に遠い開発フェーズの顧客案件が一部縮小し、これが主な要因となり通期の売上が減少した（5億円→3.3億円）
- 一方で、①②によって狙う製品関連売上は、来期（24/3期）には当期比20倍に拡大する見込み（7百万円→1.5億円）。前倒しでの立ち上がりと事業転換を目指す。



（\*） ERASMO納品確認の手続き遅れ△20百万円、その他期ズレ、景気悪化による案件凍結・遅延等

# 2023年3月期 通期業績予想の修正（2/2）

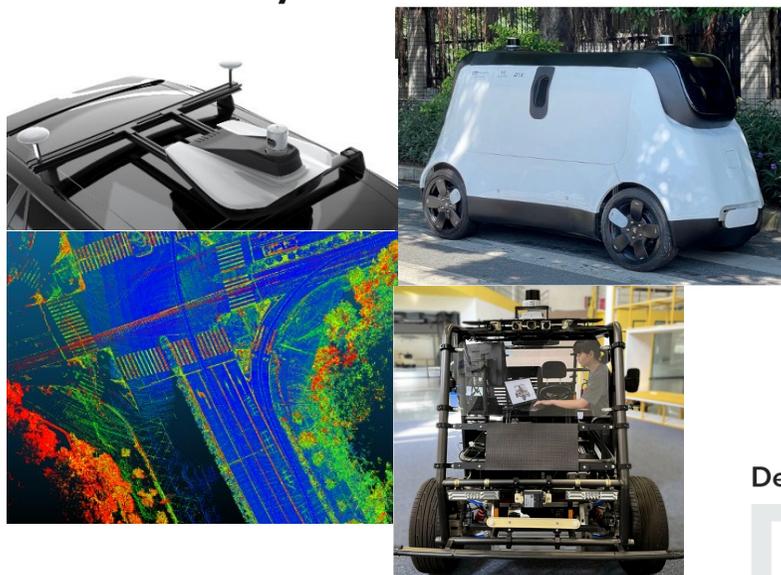
- コストについては、想定したArtisenseとの技術統合によるコストシナジーを達成するも、欧米の為替高・インフレ+50百万円、製品向けパッケージの開発+20百万円が主な要因となり増加
- 上記売上・コスト要因により営業利益を修正、その他為替差益146百万円等の要因により経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益を修正

## 修正金額 要約

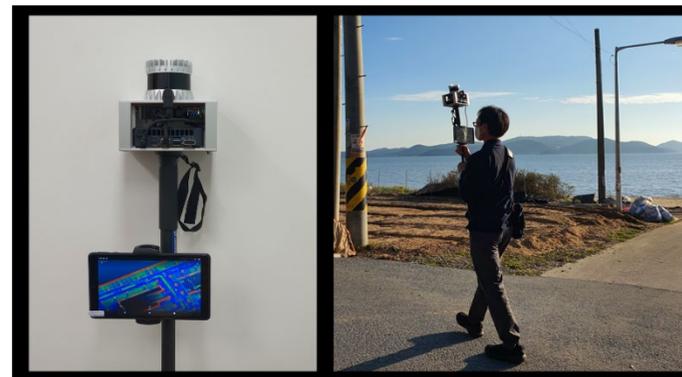
(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 業績予想	2023年3月期 業績予想（修正後）	増減率
<b>売上高</b> (会計基準変更前)	127	271 (296)	500	328	△34.4%
<b>営業利益</b>	△451	△433	△350	△603	—
<b>経常利益</b> (内、持分法による 投資損失)	△1,575 (△1,232)	△681 (△403)	△300	△399	—
<b>親会社株主に 帰属する 当期純利益</b> (内、減損損失)	△1,608	△2,237 (△1,474)	△315	△416	—

## Whale Dynamic 自動運転・HDマップ



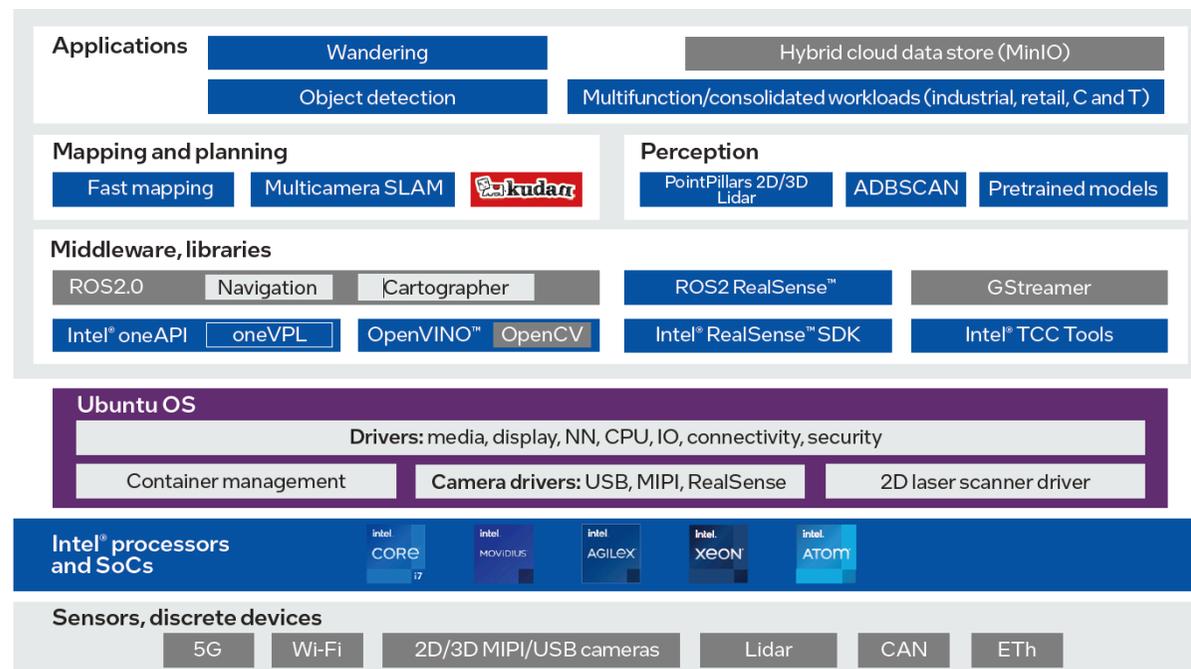
## UCS ハンドヘルドマッピングデバイス



## Intel ロボット開発プラットフォーム

### Developer Tools

■ Intel® components   ■ Open source or third-party components



## Move! AI 自律移動ロボット向け統合ソリューション



- 本資料は、当社の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。
- すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2023年4月28日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。